

SEAJET 013

2019年1月
No. 9108

タイプ	エポキシ樹脂系さび止め塗料				
特長	①タールを含まないため安全性に優れている ②VOCが少ないため環境保全に寄与しており、厚膜塗装が可能である ③付着性、耐衝撃性、耐摩耗性などの物理的性質が優秀 ④耐水性、耐海水性が優秀で船底部の苛酷な条件下で長期間優れた防食性を発揮 ⑤各種SEAJET防汚塗料類の直塗りも可能なマルチプライマー				
用途	ヨットのキール等金属部のさび止め、FRPのオズモシス防止				
塗料性状	混合比率（質量比） ・ *1主剤：硬化剤 = 86.6：13.4 色 ・ ・ ・ ・ ・ ライトグレー 密度 ・ ・ ・ ・ ・ 1.33 g/mL 容量NV（VS） ・ ・ 46±2% 重量VOC ・ ・ ・ ・ ・ 35.0 wt% 塗付量（理論値） ・ ・ 361 g/m ² 膜厚 ・ ・ ・ ・ ・ ウェット 272 μm ・ ・ ・ ・ ・ ドライ 125 μm				
(D.F.T. 125 μm)		5℃	10℃	20℃	30℃
乾燥時間	指触	5時間	4時間	3時間	2時間
	硬化	18時間	15時間	8時間	6時間
塗装間隔	最短	18時間	15時間	8時間	6時間
	最長 *2	—	—	—	—
可使時間		18時間	14時間	7時間	4時間
熟成時間		—	—	—	—
塗装条件	塗装方法 ・ ・ ・ ・ ・ エアスプレー、エアレススプレー、はけ塗り、ローラー塗り 気象 ・ ・ ・ ・ ・ 温度:5℃以上、湿度:85%RH以下 エアレススプレー時 ・ 適正粘度:1.6~2.0 Pa·s ・ チップ No.: (GRACO) 621, 623 ・ 二次(塗料)圧:14.7~17.7 MPa ・ ガン移動速度:60~80 cm/秒 シンナー ・ ・ ・ ・ ・ SEAJETシンナーD、 ・ 希釈率:エアスプレーの場合 0~10%、エアレススプレーの場合 ・ 0~5%、はけ塗りの場合 0~5%、ローラー塗りの場合 0~5% 素地調整 ・ ・ ・ ・ ・ 新艇の場合ゲルコート面をSEAJET THINNER Aやアセトン ・ で拭き、更にNo.180~No.240程度のサンドペーパーで面粗し処理を実施し ・ てください。 適合下塗 ・ ・ ・ ・ ・ — 適合上塗 ・ ・ ・ ・ ・ SEAJET 033,037,039等				
使用上の注意	①主剤と硬化剤を規定の比率で均一になるよう十分攪拌混合して下さい。 ②可使時間に制限がありますので必要量のみ調合して下さい。 ③SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。				
荷姿	2Lセット				
危険物表示	【主剤】	/ 【硬化剤】			
	消防庁登録記号	0154SB	/	015654	
	引火点	21.2℃	/	22.7℃	
	消防法危険物区分	第二石油類	/	第二石油類	
	爆発限界(体積%)	下限 1.1%、上限		15.0%	
	有機溶剤区分	第二種有機溶剤			

SEAJET 013 (2019年1月版)

備 考	①*1:混合比(容量)は、主剤:硬化剤=80:20
	②*2:SEAJET 013を長時間をあけて塗り重ねる時は、塗り重ねる面の汚れ等を十分落とし、塗装インターバルを守って塗装してください。
	エアスプレー時の条件は以下の通りです。
	適正粘度 :0.5~1.0 Pa·s
	ノズル口径Φ :1.0~2.0mm
	一次(空気)圧:0.3~0.5MP
③船底塗料SEAJET033、037、039との塗装間隔は以下の通りです。	
	乾燥温度
	5℃ 10℃ 20℃ 30℃
最短	18時間 15時間 8時間 6時間
最長	5日 4日 3日 2日
④塗装条件等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。	
⑤塗料密度、NV、VOC量は、塗料配合から計算した値です(無希釈状態)。	

本製品説明書に記載されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。